

# 狭山市立柏原中学校 全国学力・学習状況調査結果の公表

## 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果(本校の概要)

### 1 概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、全小中学校を対象にした調査であり、目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」(実施要領より)です。

本校では、この趣旨に基づき、調査結果を踏まえ、教育計画等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導の充実に努めてまいります。さらに結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、児童生徒の学習状況の改善にご理解をいただき、今後も引き続き学校教育にご協力ご支援をいただきたく存じます。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

- (2) 実施月日 平成27年4月21日(火)
- (3) 実施学年 第3学年
- (4) 実施教科等 国語A(主として「知識」に関する問題)  
国語B(主として「活用」に関する問題)  
数学A(主として「知識」に関する問題)  
数学B(主として「活用」に関する問題)  
理科(主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題)
- (5) 質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)

### 2 実施教科における全国・埼玉県・狭山市の平均正答率

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
埼玉県	74.9	64.7	63.2	40.4	51.6
狭山市	73.8	63.4	61.6	38.7	50.6

### 3 考察

#### 【国語A・B】

- ・Aは、全国平均にやや及ばないが、県平均、狭山市平均を上回っている。
- ・Bは、全国平均から2ポイント、県平均から1ポイント下回っているが、狭山市平均は上回っていた。

#### 【数学A・B】

- ・Aについては、全国平均より1.5ポイント低く、県平均を0.5ポイントと下回っている。狭山市平均は上回っている。
- ・Bについては、全国平均にやや及ばないが、県平均を1ポイント、狭山市平均を2ポイント程度上回っている。

#### 【理科】

- ・全国平均には及ばないが、県平均約1ポイント、狭山市平均約2ポイントを上回っている。「知識」に関する問題では、全国平均、県平均より高かった。「活用」の問題は県平均を上回ったが、全国平均からは1ポイント低かった。

#### 【質問紙調査】

- ・各質問に対して、本校の回答はプラスの答えが全国や県と同等か、それ以上のものが多かった。ただ、「学校の宿題をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」の項目は、どちらも「している」「どちらかといえば、している」の回答が全国、県に比べ低くなっている。このことから、授業の復習や宿題など、家庭での学習に課題があることが伺える。ただし、各教科に関しての質問項目で、各教科を学習することは大切かという質問に対して「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた割合が全国や県を上回っており、学習の大切さは意識していると考えられる。本校では、「家庭学習の手引き」を作成し、配布しているが、今後、この冊子の更なる活用を考えていきたい。